

春号

第156号

財団法人 山梨県交通安全協会

財団法人 山梨県交通安全協会各支部

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂847
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)

- | | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 | 韮崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鵜沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 笛吹交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
社団法人・山梨県建設業協会



運転は人に社会に思いやり

春の全国交通安全運動

4月6日から15日



横断歩道の渡り方の指導を受ける藤井保育園の園児ら

＝韮崎市藤井町北下条

交通安全カレンダー

- 平成18年
- 4月6日～15日 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
- 7月 夏の交通事故防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成19年
- 2月 交通安全推進県民大会

春の全国交通安全運動が四月六日から十五日までの十日間、全国一斉に行われます。この運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を目的としています。

運動期間中、山梨県交通安全協会では県、県警をはじめ関係機関、団体が協力して、新一年生の通学時の渡り方やお年寄りの交通安全教育に力を入れていきます。県下では新一年生が八千三百七十六人、六十五歳以上のお年寄りが約十九万人います。一人でも交通弱者が事故に遭わないよう積極的な活動を行います。

「高齢者と子ども高齢者交通事故防止」を基本に①自転車の安全利用の推進②シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底③飲酒運転等悪質・危険な運転の追放④目を目標に力を入れていきます。運転は人に社会に「思いやり」をスローガンに交通事故防止に努めましょう。

内容紹介

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 2面 「チャレンジ200」参加者を募集 | 6面 交通安全推進県民大会 |
| 3面 交通安全功労者等表彰式、交通安全中央大会 | 7面 弁論優秀作品 |
| 4、5面 地区安協の活動紹介 | 8面 協賛団体の交通安全活動 |

交差点

▼高齢者人口は、二〇二〇年頃、六十五歳以上の人口が最も多くなり、今後は人口規模の大きな戦後生まれの世代が高齢期を迎え、世界に例をみない高齢社会となります。

▼高齢者の交通事故の傾向として、年齢別の交通事故死者数の推移では、十六歳～二十四歳の若者と六十五歳以上の高齢者が多くなっています。特に高齢者の交通事故死者数は、平成五年に若者に上回って以来、もっとも死者数の多い年齢層となっており、死者構成率は約四〇％で全年齢層の中でもっとも高くなっています。

▼高齢者の交通事故は、著しい増加傾向にあり、特に死亡事故の比率が高いなどの傾向があり、これらの要因として①運転免許保有高齢者の増加により、交通事故の当事者となる可能性が増加②視力や反応時間の低下といった、高齢に伴う身体能力の変化に関する問題や、社会活動に車が不可欠といった点があります。

▼これらの状況を踏まえながら安全運転のポイントを考えますと①何よりも、スピードを出しすぎない②時間的、空間的にゆとりを持つ③体調を考えて、無理をしない④が挙げられます。

▼高齢者講習を受けるなかで、長年の習慣で身に付いてしまった、悪い癖や間違った行動を再認識し、自分の心身機能や運転技量に合った運転を心がける気持ちを持ちたいものです。

違反者が放置駐車違反金拒否

使用者に「納付」責任

6月から新取締り制度スタート



放置違反の車に貼るステッカー



放置駐車違反車両の使用者に課せられる「放置違反金制度」について説明します。警察官や駐車監視員は、放置駐車違反車両に確認標章を取り付けます。



公安委員会は、当該車両の運転者が判明しないときは、使用者に弁明の通知を行い、弁明の機会を付与します。使用者は、弁明書の提出期限までに放置違反金の仮納付ができます。

放置違反金の仮納付がない場合は、公安委員会は、使用者に対し標章が取り付けられた日の翌日から三十日を経過しても、運転者が反則金を納付せず、かつ公訴提起等がなされないときは、放置違反金の納付命令を行います。

放置駐車違反車両の使用者に対する新しい取締り制度について「放置違反金」の納付が命ぜられます。平成十八年六月一日から施行される放置違法駐車車両に

今回は、放置違反車両の使用者に課せられる「放置違反金制度」について説明します。警察官や駐車監視員は、放置駐車違反車両に確認標章を取り付けます。運転者が警察署に出頭しない

「チャレンジ200」は、「守ろう！交通ルール 高めよう！交通マナー みんなの約束！無事故・無違反」を合

昨年交通事故による死者数は、全国では昭和三十一年以来四十九年振りに七千人台を下回って六千八百七十一人となり、本県においても前年に比べ十六人減少して六十四人と、死者数の減少率は全国上位でした。

さらなる交通事故死者の減少に向けて

県警交通部長 小河原 正夫



死亡事故の抑止」を掲げ、交通関係団体の皆様方や自治体等との連携を図りながら、引き続き、子どもと高齢者の交通事故防止、シートベルトの着用率の向上、安全で快適な交通社会を実現するために、今後ともご理解、協力を

安全のために

また、敬意を表するところでありま



なお、県内における本年二月末現

暮れ時に

5人1組で200日間 無事故・無違反に挑戦 「チャレンジ200」参加者募集

この運動が無事故・無違反を達成したチームには、表彰状や記念品を授与するほか、抽選会参加者には、リニア試乗などの賞品も当たります。

◆問い合わせ先 セーフティドライブ・チャレンジ作戦実行委員会(山梨県県民生活課内) 電話 055・223・1353、ファックス 055・223・1354



抽選でリニア試乗が当たる

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691

交通安全国民運動中央大会

緑十字金賞に山下、山本

県内受賞者



山下 譲二氏



山本 重成氏



渡邊日出男氏



笠井 郁男氏



加藤 芳宏氏



羽中田 進氏



松橋 勝美氏

第四十六回交通安全国民運動中央大会が、一月十七・十八日の二日間、東京で開催され、山梨県から交通安全賞章緑十字金賞・銀章の受賞者や交通安全功労団体の代表者らが参加しました。

一日目は、クランドアーク半蔵門で交通安全分科集会在開かれ、基調講演のあと交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会が開催され、参加者代表による交通安全対策の意見発表が行われました。

一日目は、クランドアーク半蔵門で交通安全分科集会在開かれ、基調講演のあと交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会が開催され、参加者代表による交通安全対策の意見発表が行われました。

常陸宮・同妃殿下の臨席のもと小泉純一郎首相代理をはじめ多くの関係大臣らの出席の中、本大会が開催されました。大会には全国から数多くの関係者が出席し、全日本交通安全協会の今井敬会長が開会のあいさつ、常陸宮殿下がお言葉を述べられ、続いて小泉内閣総理大臣代理、衆参両院議長ならびに国家公安委員長、警察庁長官から祝辞を受けました。

引き続き、交通安全賞章、優良団体などの表彰や交通安全年間スローガン・交通安全作文最優秀入選者の表彰が行われ、最後に大会宣言を満場一致で採択し大会を終了しました。

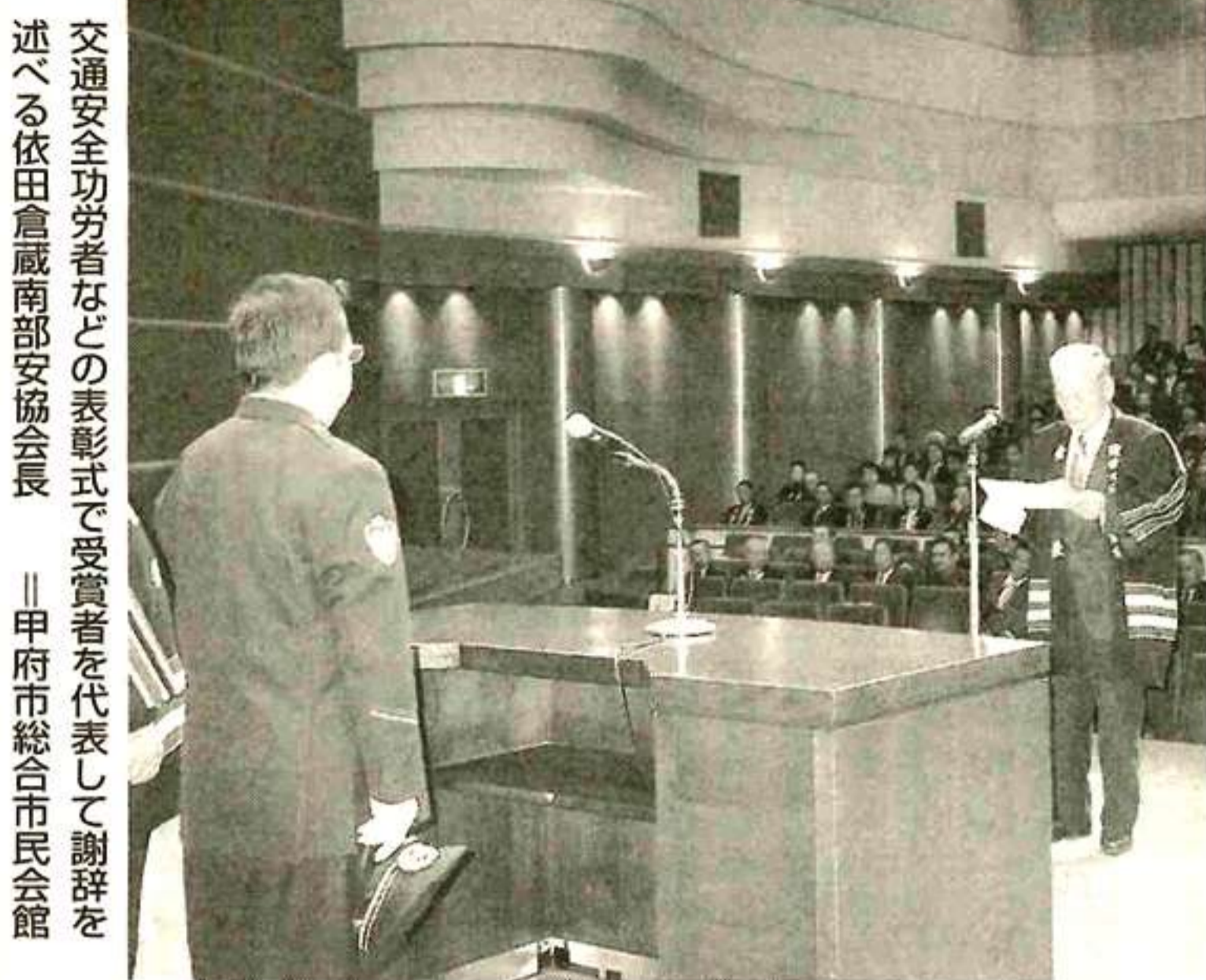
優秀安協に葦崎、南部

17年度の交通安全功労者等表彰

山梨県警察、山梨県交通安全協会は二月二十二日、甲府市の甲府市総合市民会館で、平成十七年度交通安全功労者等の表彰式を行いました。

表彰式では、交通事故防止に長年功績のあった、交通功労者や交通安全団体、無事故無違反で他の模範とされる優良運転者の人たちが表彰の対象となり、関東管区警察局長・関東交通安全協会会長連盟表彰の二団体・一事業所・十五人と全日交会長表彰百二人・七運転管理者に表彰の伝達

がされ、県警察本部長、県安協会長表彰三十七団体・三百十八人に表彰状・感謝状と記念品が授与されました。受賞団体と受賞者は次の人たちです。



交通安全功労者などの表彰式で受賞者を代表して謝辞を述べる依田倉蔵南部安協会長

甲府市総合市民会館

山梨県警察、山梨県交通安全協会は二月二十二日、甲府市の甲府市総合市民会館で、平成十七年度交通安全功労者等の表彰式を行いました。

表彰式では、交通事故防止に長年功績のあった、交通功労者や交通安全団体、無事故無違反で他の模範とされる優良運転者の人たちが表彰の対象となり、関東管区警察局長・関東交通安全協会会長連盟表彰の二団体・一事業所・十五人と全日交会長表彰百二人・七運転管理者に表彰の伝達

がされ、県警察本部長、県安協会長表彰三十七団体・三百十八人に表彰状・感謝状と記念品が授与されました。受賞団体と受賞者は次の人たちです。

谷朝子、大久保治郎、深川謙一、楠岡隆保(南甲府) 依田達哉、飯野徹、清水幸男、小林一三三、森本聖治(南アルプス) 深沢勝彦、岩下照人(葦崎) 浅川福雄、細田宏之(長坂) 幡野行雄、長沢初(飯沢) 佐野光政、山本昭和(南部) 依田雅己、有泉敏雄(市川) 藤原武人、堀千代子、中澤保、藤原今朝男(笛吹) 齊藤親、佐知子(塩山) 宿澤惣一、畑野(都留) 天野学、渡辺力男、五味武雄(富士吉田) 後藤慶家(大月) 和智征夫、山崎多喜男(上野原) 古屋俊仁(奥安協)

山梨県交通安全協会会長連盟表彰の二団体・一事業所・十五人と全日交会長表彰百二人・七運転管理者に表彰の伝達

がされ、県警察本部長、県安協会長表彰三十七団体・三百十八人に表彰状・感謝状と記念品が授与されました。受賞団体と受賞者は次の人たちです。

植松義紀、渡辺知和、佐野丈夫、小林才名(南甲府) 中島康洋、古郡義人、柴田忠洋、森本茂、柴田健(南アルプス) 中村由美子、木下俊夫、越石郁子(葦崎) 白倉和也、浅川正輝(長坂) 井上晋也、太田勝(飯沢) 岡崎隆美、杉山ゆき(南部) 依田正彦、岸本ふじ子、望月幸雄、小林五郎(市川) 小峰幸弘、前橋和子、土屋正邦、田辺誠一(笛吹) 小林政雄(日下部) 広瀬勝男、松井広幸、久保寺晴男(塩山) 渡辺英明、織田美和子(都留) 小田新一郎、渡辺さつき、土屋芳敏、小林正廣、渡辺雄司、渡辺丈夫、有賀政行(富士吉田) 幡野紀男、清水雄二(大月) 細貝正雄(上野原) 坂井正一、山寺寛志、小沢泰訓(県トラック) 小松隆司(県バス) 藤原雅一、坂本義光(県タクシ) 前田恒夫(県身障者) 橋本健司、内藤俊雄(県一推)

山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会会長連盟表彰優良交通安全協会優秀賞、葦崎交通安全協会、南部交通安全協会、上野原交通安全協会、同優良賞長坂交通安全協会、上野原交通安全協会

交通安全功労者及び団体(甲府) 今村昌枝、堀込秀作(南甲府) 浅川正夫(笛吹) 秋山弘一(富士吉田) 栗原美子、青柳まさ美(母の会)

交通安全功労者及び団体(甲府) 今村昌枝、堀込秀作(南甲府) 浅川正夫(笛吹) 秋山弘一(富士吉田) 栗原美子、青柳まさ美(母の会)

交通安全功労者及び団体(甲府) 今村昌枝、堀込秀作(南甲府) 浅川正夫(笛吹) 秋山弘一(富士吉田) 栗原美子、青柳まさ美(母の会)

交通安全功労者及び団体(甲府) 今村昌枝、堀込秀作(南甲府) 浅川正夫(笛吹) 秋山弘一(富士吉田) 栗原美子、青柳まさ美(母の会)

交通安全功労者及び団体(甲府) 今村昌枝、堀込秀作(南甲府) 浅川正夫(笛吹) 秋山弘一(富士吉田) 栗原美子、青柳まさ美(母の会)

交通安全功労者及び団体(甲府) 今村昌枝、堀込秀作(南甲府) 浅川正夫(笛吹) 秋山弘一(富士吉田) 栗原美子、青柳まさ美(母の会)

安協から

大月交通安全協会は、県の東部に位置する大月市(人口約三万二千人)一市を所管区域としており、周囲を岩殿山をはじめとした山々に囲まれ、富士山の眺望に恵まれていることから、日帰り登山の人気スポットとして、首都圏から多くの登山客が訪れています。

管内は、市内を東西に約三十キロに渡って走る国道20号線と、市内から小菅村まで南北に走る国道139号線が幹線道路となっており、

交通死亡事故撲滅のために

大月交通安全協会会長 山下 道男



すが、特に国道20号線は、朝夕の通勤時をはじめ、行楽期などには市内中心部が慢性的に交通渋滞となることから、その対策として、現在大月バイパスの建設が進んで

は人身交通事故が、発生件数百六十五件(対前年十六件)、死者数五人(同十二人)、負傷者二百二十二名(同十六人)と、いずれも増加している状況にあり、その特徴は、高齢者を対象とした講習会を開催

このため、当協会では、大月市の協力のもと、市内の七カ所に電光掲示板を設置してドライバーに安全運転を呼び掛けているほか、高齢者を対象とした講習会を開催

警察や大月市など関係機関との連携した活動が欠かせないわけですが、それにも増して、地域住民の交通安全意識を高めていく事が大切であり、今後、我々交通安全のボランティア組織としての活動が一層重要となってくると考えております。

悲惨な死亡事故を一件でもなくすよう、協会員自らが交通安全のリーダーとして模範を示し、地域の一人ひとりに「相手を思いやり、ゆずり合いの心」を持った交通マナーを醸成していくよう、協会一丸となった活動を今後とも積極的

に推進していきたいと思っております。

県内各地区安協の活動

交通安全祈願祭開き「死亡事故ゼロ」誓う

○：日下部

日下部交通安全協会(河野勝会長)はこのほど、山梨市南の差出磯大嶽山神社で交通安全祈願祭を開きました。

日下部安協、日下部警察署、日下部安全運転管理者協議会、日下部交通安全母の会の役員、山梨市職員、笛吹市春日居支所交通指導員約五十人



日下部安協役員らが参加し開かれた交通安全祈願祭 =山梨市南・差出磯大嶽山神社



地域の交通事故防止を一致団結して進めていくことを誓い合った交通安全祈願祭 =甲州市・菅田天神社



交通事故撲滅に向けスローガンを読み上げて無事故への誓いを立てた交通安全祈願祭 =都留・山梨中央銀行桂支店駐車場



南アルプス安協役員ら南アルプス警察署管内の交通団体関係者約100人が出席して開かれた交通安全祈願祭 =南アルプス市小笠原・笠屋神社

祈願祭では、各種団体が協力し、本年も悲惨な交通事故が減少するように全員で祈りました。



鮮やかなピンクやグリーンで文字で事故防止を訴えるハンドプレート

「飲酒運転禁止」の三種類。昨年末の「年末年始交通安全祈願祭」から登場しました。山梨園芸高校周辺では年間を通じ、安全運動期間中に街頭指導所を開設。事故防止を訴えてきました。同協会は同高校にも日ごろからの事故防止活動にも有効活用してもらいたいと寄贈しました。

地域の事故防止へ一致団結誓い合う

○：塩山

塩山交通安全協会(内藤進会長)はこのほど、甲州市の

事故防止、交通安全思想の啓蒙・普及などを一致団結して

都留交通安全協会、都留警

谷支部(藤本信太郎支部長)

安協役員、女性部役員、南アルプス交通安全管理者協議

が出席。神殿で交通安全祈願のおはらい、各団体が使用する車両の安全祈願のおはらいを受けた後、社務所で各団体が交通安全に対する新年の抱負を発表、「死亡交通事故発生ゼロ」を誓い合いました。

菅田天神社で交通安全祈願祭を行いました。

推進していくことを確認しました。

各団体の玉串奉てん後、志村支部長に合わせ、参加者全員で交通事故撲滅のスローガンを読み上げ誓い合いました。

南アルプス交通安全協会(刃刀長夫会長)はこのほど、南アルプス市小笠原の笠屋神社で交通安全祈願祭を開きました。

悲惨な交通事故撲滅へ交通団体役員らが祈願

○：南アルプス

南アルプス交通安全協会



また、大月交通安全協会表彰式も大目で行われ、交通安全活動に功績があった一団

「交通安全祈願祭」で事故ゼロの誓い新た

○：大月

大月交通安全協会(山下道男会長)はこのほど、大月市

の三嶋神社で恒例の交通安全祈願祭を行いました。

引越のことなら
まずお電話を!

まかせて安心

ISO9001:2000 認証

松本引越センター
山梨営業所
TEL. 055-222-0222
0120-22-0222
中央市西新居330-7

私は運転、飲みません

宴席で「禁酒」カード掲示

県内の交通安全協会が地元の警察署と連携して、運転、宴席などで「酒を飲まない」カードを身につけてもらい、飲酒運転をしない自覚と周囲の理解を呼びかける運動を進めています。富士吉田は首から下げるホルダー式、南甲府はピンで衣服に留める方法。いずれも「運転なので飲みません」と大きな文字とイラスト入りで人目を引くデザイン。各安協が飲酒運転追放に向け知恵を絞っています。



「飲まない宣言ネックホルダー」贈呈式
=富士吉田市のシチズン電子



飲食店の代表らへの「今日は飲みません」ホルダー贈呈式
=南甲府警察署

富士吉田交通安全協会（渡邊日出男会長）は、「飲まない宣言ネックホルダー」を作成し、飲酒運転撲滅に向けた活動を積極的に進めています。ホルダーは宴席に出席する運転者へ贈呈しています。

同協会は第一弾として富士吉田警察署管内の安全運転管理責任者選任事業所である「シチズン電子」に百個のホルダーを贈りました。贈呈式も行われ、渡邊会長らがシチズン電子社員の代表四人の首にかけ、有効活用の依頼と飲酒運転撲滅をあらためて呼びかけました。

シチズン電子は昨年末から今年初めの忘年会や新年会で早速活用。独自に「絶対に飲酒運転をしない・させない宣言」も行っています。ホルダーは富士吉田警察署

の受付窓口で置き、自由に持ち帰れるようにしています。周囲にも明示し「飲ませない」ことを促す効果を狙っています。同協会は富士吉田警察署員らと協力してホルダー内に入れるカード二千枚を手作りしました。縦約十一・五センチ、横約十一センチのカードには赤字で「飲まない宣言」と書かれ、宴席に出た運転者が「今日は、運転なのでお酒は飲みません！」と話している様子をイラストで描いています。

町道沿いの危険箇所について調査を進める市川交通安全協会役員ら
市川警察署管内



置要望がある個所などについて危険箇所の現状を見ながら対策を検討しました。



伊藤重忠会長や長坂警察署長、長坂防犯協会支部長ら約三十人が参加。それぞれの駐車場を訪れた約百十人に、やめよう飲酒運転、守ろう高齢者」などと書かれた飲酒運転の撲滅と特別警戒の広報チラシ、反射材などを配布、事故防止を訴えました。



名調子で「交通安全ズンドコ節」を披露する海野千尋警部補

南甲府交通安全協会（山下）の交通安全ズンドコ節。海野千尋警部補が歌手顔負けの名調子で歌う交通安全ズンドコ



高齢者の死亡事故に対応して開かれた緊急会議=富士吉田市内

交通祈願祭は富士河口湖町内の三魂交通神社で行われ、富士吉田安協をはじめ交通関係団体など約百二十人が参加。今後、交通安全思想の高揚と普及活動に取り組みすることを決意しました。

町道沿いの危険箇所調査、対応策を検討
市川交通安全協会（八木吉治会長）は市川警察署管内の駐在所と合同で、危険箇所の調査を実施しました。

飲酒運転撲滅訴え
広報チラシを配布
長坂交通安全協会（伊藤重忠会長）は、北杜市長坂町大八田

交通安全祈願祭は、高年齢者の事故防止にも力を置き、南甲府警察署と連携し、昨年末、管内の自治会などに呼びかけ、高齢者を対象とする講習会「出前講習」を管内六カ所で開講しました。

講習では海野千尋警部補が歌手顔負けの名調子で歌う交通安全ズンドコ節「交通安全ズンドコ」を披露し、萩原裕美婦警が舞踊を披露。参加者から大きな拍手を集めました。また交通講話も行い、お年寄りにわかりやすく交通事故防止策を伝えました。

富士吉田交通安全協会（渡邊日出男会長）は、年末年始にかけ、交通安全祈願祭も開催。対策会議では昨年、富士吉田市内明見で発生した高齢者の

高い無事故率

早く優しい地元のための教習

山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689

普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(合宿施設有)

交通安全推進に全力 団体に感謝状を贈呈

○上野原

上野原交通安全協会(和田博夫会長)はこのほど、上野原市内で交通安全祈願祭と交通安全関係団体への感謝状贈呈式を行



交通安全活動を積極的に進めている団体への感謝状贈呈式

＝上野原市勤労青少年ホーム

式には関係者九十三人が出席。上野原警察署管内で日ごろから交通安全活動を積極的に進めている団体に感謝状が贈られました。また、昨年末には母子に対する安全教室も開き、親子約六十人にわかりやすく交通マナーなどを説明しま

いました。祈願祭は牛倉神社で行われ、上野原安協役員、上野原安全運転管理者協議会役員、上野原交通安全母の会役員、上野原警察署員、上野原市関係者など約五十九人が参列しました。勤労青少年ホームで行われた感謝状贈呈式には関係者九十三人が出席。上野原警察署管内で日ごろから交通安全活動を積極的に進めている団体に感謝状が贈られました。

無事故に向け活動推進 交通安全祈願祭を開催

○鯉沢

鯉沢交通安全協会(深沢豊会長)は新年を迎え、同町の八幡神社で鯉沢警察署管内交通関係団体合同で、交通安全



鯉沢警察署管内の町長や交通団体の役員らが出席して開かれた交通安全祈願祭
＝鯉沢・八幡神社

祈願祭を開きました。管内の四町長や安協役員、鯉沢安全運転管理者協議会役員、鯉沢交通安全母の会役員、同警察署員ら約四十人が出席。神事後、伊藤厚喜町長や深沢会長が挨拶、今年の無事故に向けたさまざまな活動の推進を確認しました。

眠気防止のためにガム配布 街頭指導所で事故防止訴え

○南部

南部交通安全協会(依田倉蔵会長)は昨年十二月、身延町波木井の国道52号で交通事故防止活動として街頭指導所



街頭指導所でドライバーらに交通事故防止を呼びかける南部警察署管内の交通関係者ら
＝身延町波木井の国道52号

南部安協会員や県峡南地域振興局職員、身延町職員、南部警察署員、南部交通安全管理者協議会、南部交通安全母の会連合会などが参加しました。街頭指導所では国道を通行する運転者に対して、安全運転を呼びかけながら、交通事故防止のためのパンフレットや眠気防止のためのガムなどを配布しました。

飲酒運転追放めざし 酒類提供店など巡回

○甲府

甲府交通安全協会(保坂輝行会長)はこのほど、甲府警察署管内の飲食店などを巡回し飲酒運転防止協力活動を展開しました。

飲酒運転に絡む交通事故が絶えないことから同安協役員、甲府交通安全活動地域推

進委員ら約百人が昨年末、スナックや寿司店などの酒類提供飲食店百十五軒をめぐる、「飲酒運転通報の店」などが書かれたステッカー、ポスターを配布しました。また、飲酒中のお客さんにはタクシーや代行車などを利用して帰宅してもらおうと呼びかけました。

同安協は今後も甲府警察署などと連携しながら飲酒にかかわる交通事故や違反などの状況を見ながら巡回活動を定期的に実施していく予定。また同安協は昨年十二月から一月にかけて、YBSラジオによる飲酒運転撲滅キャンペーンに参加、管内からの飲酒運転者の追放を呼びかけました。



駅利用者やドライバーに交通安全啓蒙品など配布
○葦崎

葦崎交通安全協会(清水武則会長)はこのほど、JR葦崎駅前ロータリーに街頭指導所を開設、事故防止を呼びかけました。

県内各地区安協の活動

交通安全推進県民大会

事故ゼロへ誓い新た



約500人が出席して開かれた交通安全推進県民大会



表彰される「山梨県交通安全スローガン」の入賞者
＝甲府市総合市民会館

の交通安全協会などから約五百人が参加しました。主催者の挨拶、来賓の祝辞に続き「山梨県飲酒運転絶対戦優良市町村表彰」で、北杜市、上野原市、南ア

の交通安全協会(保坂輝行会長)はこのほど、甲府警察署管内の飲食店などを巡回し飲酒運転防止協力活動を展開しました。飲酒運転に絡む交通事故が絶えないことから同安協役員、甲府交通安全活動地域推進委員ら約百人が昨年末、スナックや寿司店などの酒類提供飲食店百十五軒をめぐる、「飲酒運転通報の店」などが書かれたステッカー、ポスターを配布しました。また、飲酒中のお客さんにはタクシーや代行車などを利用して帰宅してもらおうと呼びかけました。

同安協は今後も甲府警察署などと連携しながら飲酒にかかわる交通事故や違反などの状況を見ながら巡回活動を定期的に実施していく予定。また同安協は昨年十二月から一月にかけて、YBSラジオによる飲酒運転撲滅キャンペーンに参加、管内からの飲酒運転者の追放を呼びかけました。

同安協は今後も甲府警察署などと連携しながら飲酒にかかわる交通事故や違反などの状況を見ながら巡回活動を定期的に実施していく予定。また同安協は昨年十二月から一月にかけて、YBSラジオによる飲酒運転撲滅キャンペーンに参加、管内からの飲酒運転者の追放を呼びかけました。

同安協は今後も甲府警察署などと連携しながら飲酒にかかわる交通事故や違反などの状況を見ながら巡回活動を定期的に実施していく予定。また同安協は昨年十二月から一月にかけて、YBSラジオによる飲酒運転撲滅キャンペーンに参加、管内からの飲酒運転者の追放を呼びかけました。

平成十八年交通安全推進県民大会(山梨県・山梨県警察本部・山梨県交通安全協会主催)が甲府市総合市民会館で開催されました。

大会には山本栄彦山梨県知事、篠原寛山梨県警察本部長、堀内光雄山梨県交通安全協会長、清水武則県議会議長、田良一県教育長をはじめ

山梨市、中道町、小菅村、豊富村(合併により事前に交付済)の表彰に続き「山梨県交通安全スローガン」入賞者表彰で最優秀賞(運転は人

の交通安全協会などから約五百人が参加しました。主催者の挨拶、来賓の祝辞に続き「山梨県飲酒運転絶対戦優良市町村表彰」で、北杜市、上野原市、南ア

の交通安全協会(保坂輝行会長)はこのほど、甲府警察署管内の飲食店などを巡回し飲酒運転防止協力活動を展開しました。飲酒運転に絡む交通事故が絶えないことから同安協役員、甲府交通安全活動地域推進委員ら約百人が昨年末、スナックや寿司店などの酒類提供飲食店百十五軒をめぐる、「飲酒運転通報の店」などが書かれたステッカー、ポスターを配布しました。また、飲酒中のお客さんにはタクシーや代行車などを利用して帰宅してもらおうと呼びかけました。

同安協は今後も甲府警察署などと連携しながら飲酒にかかわる交通事故や違反などの状況を見ながら巡回活動を定期的に実施していく予定。また同安協は昨年十二月から一月にかけて、YBSラジオによる飲酒運転撲滅キャンペーンに参加、管内からの飲酒運転者の追放を呼びかけました。

同安協は今後も甲府警察署などと連携しながら飲酒にかかわる交通事故や違反などの状況を見ながら巡回活動を定期的に実施していく予定。また同安協は昨年十二月から一月にかけて、YBSラジオによる飲酒運転撲滅キャンペーンに参加、管内からの飲酒運転者の追放を呼びかけました。

交通安全宣言

交通安全をなくすことは、県民すべての心からの願いです。平成十七年中は、県民あげて交通事故防止対策を推進した結果、交通事故による県内の死者数は四十六年振りに七十人を下回る六十四人に減少させることができました。

しかしながら、交通事故発生件数・負傷者数は減少したものの、まだまだ高い数で推移しており、特に全死者数及び全歩行者死者数に占める高齢者の構成率は昨年「上回る等、引き続き厳に推進することを誓います。

全推進県民大会を開催し、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加するすべての人々と協力し、県内の地域・家庭・職場において、次の対策を強力に推進することを誓います。

平成十八年二月二十二日
平成十八年交通安全推進県民大会

- 一、高齢者と子どもの交通事故防止
- 一、シートベルトとチャイルドシート
- 一、正しい着用方法の徹底
- 一、飲酒運転等悪質・危険な運転の追放
- 一、運転中の携帯電話等使用等の禁止の徹底
- 一、早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進

中学生交通安全弁論大会優秀作品

「交通事故」私には関係ない。そう思っている人はいませんか。実は私もそういう一人でした。しかし、この弁論大会に参加することを通して、私の考え方は変わりました。

山梨県では毎日平均二十一件の人身事故が起きています。また、四日に一人は死亡事故によって、尊い命が失われています。「行ってきません。」いつも変わらぬ平和な生活を、一瞬にして不幸のどん底へ突き落とす「交通事故」に、遭ってしまってから後悔しても遅いのです。

交通事故防止への二つの提案

都留第二中学校三年 相澤 大樹



命に直接関わる、この弁論大会にも何かできることはないかと参加しました。戦後六十年。今の平和は、亡くなった尊い犠牲のうえにあるものです。しかし、平和を創り上げるためにどれだけの努力をしてきたかを忘れてはいけません。身近な人が、突然犠牲になる。これは、戦争中より悲惨なことです。そのためにも、「交通事故を他人事にしない」として、「交通安全の活動に参加する」ことを通して、この山梨県から今後一人も交通事故の犠牲者を出さないようにしていきます。

まず、それは、私達中学生や県民の一人一人の交通安全に対する意識が高まった結果だとは思えないからです。違反を取り締まる警察や先生、見つからなければ良いと考える人々。中には、暴言を吐く人までいます。こんな状態では、決して尊い犠牲をなくせるとは思えません。私達中

その対策に当たることが重要だと考えます。例えば、前方不注意・思いこみによる交差点での事故などは交通事故の大部分を占めるのです。これらは、大人の自覚の問題ではなく、中学生だけの問題ではなく、中学生の自転車事故や飛び出しなどの原因と共通するものです。これらのことを、家族やクラスで呼びかけたり、生徒会や委員会が交通安全ゼロに取り組みなど、身近なことから私達自身が活動することが何より大切だと考えます。



山梨県交通安全協会などが移転した新庁舎

(財)山梨県交通安全協会／公認 山梨自動車学校

移転しました。これからもよろしくお願ひします。

財団法人山梨交通安全協会と山梨県交通安全推進センターは平成18年2月27日に南アルプス市下高砂847に移転しました。これからも、新庁舎のもとで県民の皆様のご支援ご協力をいただきながら、民間の交通安全団体の中核としての役割を担い、安全で快適な「くるま社会」の実現を目指して、各種の交通安全対策を強力に推進していくこととしております。なお、交通安全のためのビデオ等各種交通安全器材の無料貸し出し等の業務も移転先で行いますので引き続きご利用ください。(財)山梨県交通安全協会

長い間、「御影の自動車学校」として皆様にご愛顧いただきました「山梨自動車学校」は、3月5日から南アルプス市下高砂地区内に移転いたしました。

新庁舎は、道路交通法の改正で新たに教習科目に指定される新大型自動車にも対応できるコースを備え、全ての自動車免許の取得に対応できます。

また、教室や待合施設等教習生の皆様のニーズに応えた快適な教習環境を整えているとともに、パソコン、携帯電話等での予約の受付もできます。

これからも、教職員一同、初心者運転者の養成機関としての役割を深く認識し、「明るく・親切」をモットーに皆様の入校をお待ちしております。

なお、詳しいことにつきましては電話でお問い合わせください。電話055・285・0752、フリーダイヤル0120・915・752
メールアドレス www.y-ds.jp 公認 山梨自動車学校

平成18年度県交通安全協会の活動重点

平 十七年中の県内における交通事故の発生状況は、人身事故件数七千二百六十五件(前年比マイナスイ百二十件)、死者数六十四人(前年比マイナスイ十六人)、傷者数九千五百九十九人(前年比マイナスイ三百三十人)と、事故件数、死者、傷者とも前年を下回りました。

特に、最大の課題であった死者数については、対前年比二〇%減少し当県としては、四十六年ぶりに七十人を下回る大きな成果を挙げております。

しかしながら、交通事故発生件数、負傷者数についても減少したものの、まだまだ高い数で推移しており、特に全死者数に占める高齢者の構成率は昨年を上回る等、引き続き厳しい交通情勢となっております。

当協会としては、こうした交通情勢を踏まえた対策を更に強力に推進するとともに、引き続き人の生命の尊さを基本理念とし、安全で安心、かつ、快適な車社会実現を目指すため、平成十八年度の活動重点を次のとおりとします。本年度から各地区交通安全協会の一部が当協会の支部になったことに伴い、全県下の交通安全対策の推進と併せて、各地域の交通実態を踏まえた交通安全対策を推進し、効果的かつ効率的な各種の交通安全対策を、各地区交通安全協会をはじめ、県、県警察等関係機関団体と一層緊密な連携の下に、強力に展開していきます。

また、以下の八項目を推進していきます。

- 各種交通安全教育の推進
- 交通安全教育指針に基づき、シートベルト・チャイルドシートの正しい着用、反射材の効用、車体視力の体験による身体機能の認識等について高齢者及び若年ドライバー等に対する交通安全教育の徹底を推進する。
- 各種交通安全運動などの実施
全国交通安全運動、春の連休・夏期及び年末の交通事故防止県民運動
- 各種大会の実施
交通安全推進県民大会、交通安全弁論大会の開催
- その他交通安全対策の推進
①会員支援対策の推進(・交通安全等民事上のトラブルの弁護士による無料相談・交通事故による見舞金制度・Eメール会員サービス等)
②自転車安全対策の推進(・自転車安全整備の効果的運用とTSMマークの普及促進・子どもと高齢者に対する自転車の正しい乗り方等の指導・子供自転車大会の開催・高齢者交通安全全自乗大会の開催)
- 二輪車安全対策の推進(・高校生を対象とする二輪車講習の実施と高校教師に対する二輪車講習と指導員審査の実施)
- 交通安全協会婦人部の活動強化及び青年部の育成と交通ボランティア制度の充実強化
- 交通安全活動に対する支援(各種団体の行う交通安全活動に対し後援、協賛又は助成等の各種支援活動の推進)
- 身体に障害を持つ運転者及び歩行者等に対する交通安全対策等への支援(・視覚障害者用交通信号機付加装置の寄附・身体障害者安全運転大会に対する支援)
- 交通安全活動従事者傷害保険事業及び交通安全見舞金制度の充実
- 情報公開に伴う各種の情報提供について(当協会の業務運営、財務処理等について一層の透明化、適正化を図るため、財務諸表等必要事項をホームページに登載し、情報公開の徹底を図る。)
- 各種表彰及び感謝状の贈呈の実施
- 交通安全対策に向けた調査研究の実施
- 各地区交通安全協会に対する支援及び助成

高齢者、子どもの事故防止 飲酒・危険運転追放へ全力

(社)山梨県建設業協会の会
員は、人や貨物の移動が安全
・快適に行えるよう国道や県
道、市町村道などの道路につ
いて新設から改良、維持・修
繕工事まで、道路を管理して
いる自治体等の指示に従って
工事を行い、より良い交通環
境を作り出すことを大きな使
命の一つと考えております。
近年、道路をはじめ各種の
公共事業に対し、無駄とか不
用不急などの批判が目につ
きますが、地域住民の要望に
応えて整備した道路投資の成
果として、地域の経済活動が
活性化し、交通量が増大した
にもかかわらず、交通渋滞・
事故が減少している現状をも
っともっとPRしなければと
思っております。県道・市町
村道もだいたい良くなってき
ましたが、まだまだ危険箇所が
一杯です。特に、車道と歩道の
区別のない道路や自動車と自
転車等の低速車が混ざり合っ
て通行する道路は危険です。
次に、建設業協会が取り組
んでいる「交通安全のための



立体交差部分が完成した
アルプス通り



クリーンキャンペーン中の
清掃活動



花壇に花を植えて美化活動
に役

(社)山梨県建設業協会

事故のない安全な道路づくり
環境整備に励む建設業者

活動一を紹介しします。
1、各地区交通安全協会と
の連携による街頭活動・広報
活動の実施
交通安全週間における街頭
指導のほか、自主的活動とし
てゴミ持ち帰りクリーンキャ
ンペーンに合わせ安全運転の
呼びかけなどを行っていま
す。
2、「道をきれいにする運
動」への参加
建設業協会各支部では毎
年、「道路をまもる月間」の活
動として、道路周辺の清掃・
空き缶・空き瓶の片づけ、除
草、街路樹の枝落としのほか、
草花の植栽等を行い快適な道
路環境づくりに協力していま
す。
3、大雪や災害時の道路交
通の確保
山地が多く、地質の脆弱な
本県では、毎年のように大雨
や台風による斜面の崩壊事故
が発生しています。そのよう
な時、道路管理者の指示を受
けて先ず駆けつけて、積もっ
た雪や崩落土砂を片付けるの
は建設業協会の会員です。危
険を伴いますが、地域の足を
確保する使命を果たすべく精
一杯頑張っています。
4、工事現場の安全確保
当然のことではありますが
が、交通を確保しながら道路
工事をを行う時は、交通の支障
にならないように、工事のた
めの交通事故を起こさないよ
うに、万全の措置を講じてい
ます。工事中、付近を通過す
るときはどうかご協力をお願
いします。
交通事故をなくし、尊い人
命を守るにはすべての者の協
力が得られなければ成果は挙
げられません。近年、高速道
路をはじめ主要幹線道路の整
備が一定水準に達したことか
ら、国民の道路に対する要望
も、自転車専用車線の設置・
幅の広い歩道など安全・快適
な歩行空間の確保と電線類の
地中化・沿道の緑化など環境
美化に関心が高まっておりま
す。
交通事故は、人・車・道路
の三要因が複雑にからみ合っ
て起こるものであり、安全対
策の検討は非常に難しいとい
われておりますが、豊かな生
活環境を維持するためには避
けて通れない重要問題です。
山梨県においても年々歩道が
整備され、電柱は取り除かれ
て電線は地中に埋め
られるなど、歩行空
間は徐々に拡大して
きましたがまだまだ
ほんの一部に過ぎま
せん。それぞれの地
域に生活する人々
が、安全・快適に行
き来することのでき
る道づくりは、私ど
も建設業協会会員の
願いでもあります。
活発な経済活動を支
え、安全・安心な交
通環境をつくるた
め、互いに力を合わ
せて頑張りましよ
う。

AMS (自動車整備振興会)

◇自動車整備工場では
「子ども110番のお店」を開設!

国の認証を受けた山梨県下860の自動車
整備工場では、安全と安心なまちづくりに
貢献する事業活動の一環として、犯罪や不
審者による様々な危険等から、大切なお子
様を守る緊急避難場所として「子ども110
番のお店」を開設しております。
また、犯罪発生時のみでなく日頃から安全
への配慮に心がけ、安全な地域づくりに
貢献するとともに、お子様や保護者の皆様
とのコミュニケーションを大切にするお
店づくりに取り組んでいます。
なお、事業展開の広報として、TV放映、
新聞への掲載、さらには県下約200の公立
小学校へのポスター配布、県下約4万世帯
にのぼる小学生家庭へのチラシの配布等
を通じ、その周知と啓蒙を図っております。
今後は、新入学生への呼び掛けも計画しています。
お子様が困ったとき、危険を感じたときは、「子ども110番のお店」の看
板を掲げた自動車整備工場をご利用下さい。
国が認めたAMS (アムス：会員工場の総称、Automobile Maintenances
Serviceの頭文字) マークの自動車整備工場では、お子様の安全とお車の安全
をお手伝い致します。

◇放置(駐車)違反金を納付しないと車検が受けられなくなります。
平成18年6月から実施!
改正道路交通法が改正され、平成18年6月1日から放置(駐車)違反金
滞納車に対する車検拒否制度がスタートします。
山梨県公安委員会から督促状や催促を受けた者は、滞納処分による違反
金強制徴収の対象となるとともに、違反金が未納付の場合は、車検が受け
られませんのでご留意下さい。
なお、車検拒否制度に関するお問い合わせは、山梨県警察本部並びに関
東運輸局山梨運輸支局にお尋ね下さい。

このマークは
子どもの
みかただよ!!

山梨県自動車整備振興会
山梨県警察・山梨県

自動車安全運転センター

SDカードを
お持ちですか?

SDカード (Safe Driver) は、安全運転者の誇りと自覚を象徴するも
のです。
無事故・無違反の年数により色分けされています。
・無事故無違反証明書又は運転記録証明書の申請者で、1年以上無事故・
無違反の方にSDカードを差し上げます。
・SDカードは、発行の日から1年間、全国のSDカード優遇店でガソリ
ン代・食事代・宿泊代などの割引やマイカーローンの金利の優遇が受け
られます。SDメリット制のパンフレット山梨県版「安全運転は三文の
得」をご覧ください。
SDカードには引き続いて模範的な安全運転をされますように、との願
いがこめられています

申請の方法

- SDカードをご希望の方は、免許証をお持ちになり、総合交通センタ
ー3階の安全運転センター事務所窓口でお申込み下さい。
- 郵便局から郵便振替による申請も出来ます。
(この場合は、振り込み手数料が必要です。)
- 申込み用紙は、安全運転センター事務所その他、警察署・交番・駐在所
などに備え付けてあります。
- 証明手数料は、1通につき700円です。

詳しいことは、自動車安全運転センター山梨県事務所にお問い合わせ下さい。

自動車安全運転センター山梨県事務所
南アルプス市下高砂825 電話 (055)285-2345 http://www.jsdc.or.jp/
FAX (055)285-2951